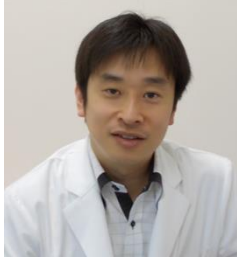




なでしこ通信

腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術はご存じですか？



今月号では、当院でも行っている腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術をご紹介します。

診察及び手術は、外科 清水正幸が担当いたします。

診療時間は毎週月曜 13時～14時になります。

鼠径ヘルニアはどのような病気ですか？

鼠径ヘルニアとは鼠径部の腹壁（お腹の壁）が弱くなり、腸が出てきてしまう病気です。症状は鼠径部が膨れてくることですが、痛みや違和感を伴うこともあります。特に、痛みや強い違和感を認める場合は手術を受けられることをお薦めします。

腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術はどのような手術ですか？

鼠径ヘルニアの手術は鼠径部の腹壁を補強する手術です。多くの場合、補強にはメッシュが用いられます。以前から行われている切開による方法は鼠径部を4～5cm切開してメッシュを留置します。一方、腹腔鏡手術では臍に2cm程度の小切開とその他に2ヶ所の孔を開け、お腹の中からメッシュを留置します。ただし、腹腔鏡手術の場合は全身麻酔が必要となります。



<使用機材>

利点などについて

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術は手術後の痛みが少なく、回復が早いといわれています。また、腹腔鏡手術の場合は片側の鼠径ヘルニアであっても両側であっても傷の数や大きさは変わりません。よって、働き盛りの若い方や両側の手術が必要な方にはメリットがあります。全身麻酔で腹腔鏡手術が可能であれば、年齢によらず安全に手術が受けられますので、鼠径ヘルニアの手術をお考えの方は、是非、外来でご相談下さい。

清水正幸 外来診療表

	月	火	水	木	金
午前	-	-	-	-	-
午後	清水 正幸 13:00～14:00	-	-	-	-

可能であれば紹介状をご持参ください。